

1. 病棟の具体的な目標と評価

1) 安全で質の高い看護を提供する

入院時に患者の状態に応じた個別性のある看護計画立案を行い、3日目には評価を行って、状況に応じて計画の変更をした。記録の監査では、質・量ともに4月～1月まで 86～100 点であった。しかし、その後アセスメント項目の入力ができていないことや、記載内容が経過表と重複している点があったため、記録内容について見直しを図り、改善した。又、患者家族の意思決定支援を行うための、IC 同席は、夜間帯以外、100%同席し、記録に家族の反応を残すことで継続した看護に繋げることができた。

NICU から GCU へ移動になる児の担当看護師(GCU)を早期に決めることで、NICU の 受け持ち看護師からの情報伝達が円滑にできた。また、GCU のオリエンテーション用紙を作成し、移動前にご家族に説明することで、ご家族の不安軽減や関係づくりのきっかけともなり、よりよい退院支援に繋がった。又、患者数が減少した時期には、積極的に、他病棟、外来、CT 室への応援をすることで、成人看護技術のスキルアップに繋げることができた。

2) 病院運営・経営に参画する

物品管理において、SPD シールの紛失率は前期、3.2%、後期、1.6%で 1.6%減少することができ、鋼製小物はチェックリストも活用され、紛失率0%にする事ができた。

3) 患者の視点に立った医療安全を推進する

今年度のインシデント発生数は 162 件であり、昨年 180 件と比較すると 18 件減少した。しかし、確認不足によるインシデントが 8 割を占めていたため、今後も更に指差呼称による確認行動がとれるようにしていく。インシデント発生時、医師と情報を共有し一緒に改善策を見出すことができた。

感染防止対策として、手指消毒のアルコールジェルの使用量が1日1患者につき平均、30.5ml から 35.7ml、増加することができた。しかし、耐性菌の患者が発生しているため手指消毒の手順の徹底を図っていく必要がある。

4) 専門職としての能力開発に努める

新人看護師には技術チェックリストを用いて技術の確認を行ってできていない項目については指導した。通年達成できない PI ルート作成にも取り組み、技術向上に努めた。又、認定看護師が、新生児看護師ラダーを基に病棟のラダーを作成した。病院で使用しているラダーを使用するとともに新生児特有の部分についてはこれを活用したいと考えている。後期には認定看護師が主催した母乳育児支援の発表を当院でも開催し、小児・周産期に関わる医療者が母乳育児の必要性和自分たちの看護を振り返る機会となった。

5) 看護の先輩として学生の指導に携わる

看護師長、副看護師長が学内実習日に病棟オリエンテーションを行い、実習初日から実習が開始できる環境を整えることができた。新たに専任実習指導者(CE)配置し、会議や研修に参加することで実習指導のスキルアップに繋がった。1日の見学実習では、担当したメンバーも統一して学生に指導を行う事ができた。

6) 活気ある職場、元気の出る職場づくり

毎朝、申し送りの開始を知らせ、挨拶から始めることで、勤務者が申し送りに集中できる状況を整えることができた。院内行事には、関連するチームメンバーが参加できるように勤務調整を行い、参加することができた。超過勤務状況は、患者数が昨年より減少していたこともあり、昨年に比べNICU7.3割、GCU8.3割の減少がみられた。又、PNSを実践することで、ペアで調整して休憩も取れた。入院が重なったときなども、スタッフ間で協力し、できるだけ全員が休憩を取るよう努めている。年休取得状況は、年度初めに、リフレッシュ休暇、連続した休暇が取得できるように年間の予定表をスタッフに提示することで年休が取得できる環境を整えた。

2. 病床運営状況

表 1 令和元年度 病床運営状況

収容可能病床数(床)		診療科名	月平均		平均在院患者数(人)		平均在院日数(日)		病床利用率(%)		病床稼働率(%)		死亡患者数(人)
			新入院患者数(人)	退院患者数(人)									
NICU	GCU	新生児科	GCU	GCU	NICU	GCU	NICU	GCU	NICU	GCU	NICU	GCU	6
			0.5	3.4									
18	32	小児外科	NICU	NICU	14.7	5.8	56.9	89.8	81.7	18.0	81.9	18.4	
			14.7	1.1									

3. 看護体制

表 2 令和元年度 看護体制

配置人数(人)	看護方式	夜勤体制(準:深)
67	PNS [®]	NICU 6:6 GCU 2:2

4. 看護統計

1) 部署データ

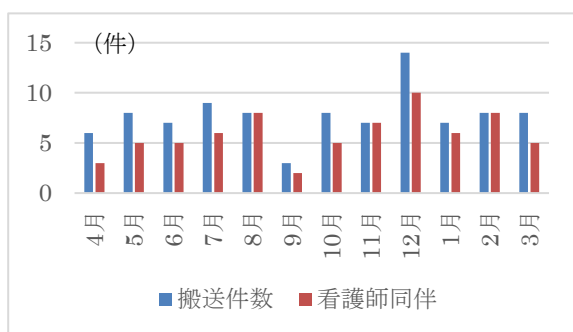


図 1 R1 年度新生児搬送件数

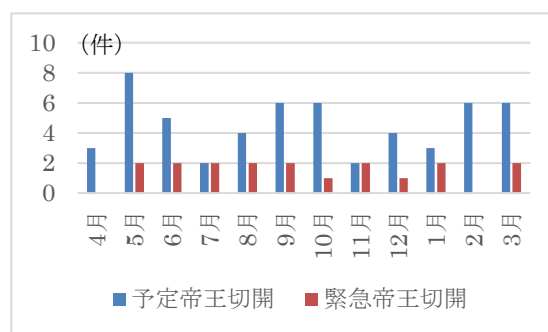


図 2 R1 年度帝王切開立ち合い件数

表 3 人工呼吸器装着患者数、手術件数

1日平均人工呼吸器装着患者数(人)	手術件数(件)
2.7	19

表 4 出生体重別患者数

超低出生体重児		極低出生体重児 1500g未満(人)	低出生体重児 1500g~2499g(人)	2500g以上(人)
500g未満(人)	1000g未満(人)			
1	23	23	75	91

5.研究業績

1)看護研究発表・研究会発表

発表演題名	発表者	学会名	開催地	開催日
18トリソミー、低出生体重児で在宅医療へ移行する児の体温管理について	岡崎有紀	第24回 岡山小児医療研究会	岡山	2019年6月2日
NICU入院児の母親のメンタルヘルス「NICUにおける家族支援」	石野陽子	第5回母と子のメンタルヘルスフォーラム in 岡山	岡山	2019年6月2日
NICU入院児のお母さんとの話し合い～母子分離環境での母乳育児支援	國安ゆかり	第28回 母乳育児シンポジウム	北海道	2019年8月4日
A病院におけるNICU室内の環境音実態調査	杉原依里香	第29回日本新生児看護学会学術集会	鹿児島	2019年11月29日
NICUに入院した院外出生児の早期搾乳に向けての課題と対策	武田亜希子	第34回 日本母乳哺育学会学術集会	岡山	2019年9月15日
NICU・GCUで使用されている災害アクションカードの見直し —アンケート調査を行って—	河野ちはる	看護研究発表会	院内	2020年2月8日

2)その他(執筆)

表題	著者名	雑誌名	出版社	発行年月日
NICUで求められる看護技術「皮膚ケアにおける看護技術とスタッフ教育」	國安ゆかり	こどもと家族ケア	日総研	2019年8・9月号